



モバイル・コンピューティング時代の プリンティングソリューション。

株式会社 沖データ 商品事業本部
ソフトウェアセンター
ソフト設計第一部 部長
渡邊 雄一

スマホ/タブレットに最適なモバイル・クラウド印刷を実現。

名古屋市の町工場が多い下町育ち。子供の頃から、ものづくりを身近に感じ、大学は工学部で機械工学を専攻。就職活動では、メカトロ系のメーカーを志望していたところ、担当教授から OKI を推薦されました。その際、幼い頃、祖父が営んでいた仕立て屋の常連のお客様に OKI の名古屋支社長がいらして、その方がとても紳士だったことから OKI という会社に好感を持っていたことを思い出しました。もちろん、電話機、プリンタ、交換機などといった当時の OKI 製品にもなじみがあったので、迷わず OKI への入社を希望しました。

そして、晴れて入社。配属の希望は NC ロボットなどのメカトロ機器の設計・開発でしたが、配属されたのは FAX 開発部門。ここで担当したのは主にモーター制御のファームウェア開発だったので、比較的希望に近い分野でした。当時の製品開発は、今ほど分業制が進んでおらず、ひとつの製品をハード・ソフト・通信などの各技術者が協業する環境。その中で、FAX 同士が情報のやり取りを行うプロトコルなど、専門外であった情報通信技術にも興味を持つようになりました。その後、FAX の撤退、組織の改編、海外（中国・大連）赴任など、紆余曲折はあったものの、現在まで FAX 技術を継承したプリンタ/MFP（複合機）関連の技術に携わっています。

近年、スマートフォンやタブレット端末の爆発的な普及により、印刷のスタイルも多様化しています。そこで、私たちは、本稿でもご紹介する「Android 端末向けのモバイル・クラウド印刷」を開発しました。これは、従来の PC のようなプリンタドライバを用いず、1) 端末から無線 LAN 経由で印刷、2) 端末から OKI が提供するクラウド環境 EXaaS（エクサース）を経由して印刷するという、2Way

による印刷をサポートする仕組みです。特に、クラウド印刷の場合は、端末、プリンタ双方の負荷を軽減しつつ、多彩な機能を実現すると同時に、双方の製造コストの削減（低価格化）にも貢献します。

これらを実現する要素技術としては、無線技術、IPP 技術などがあります。しかし、最も苦慮したのは、業界の標準化動向のリサーチと、その対応です。印刷ニーズの多様化に伴い開発アイテムも増える中、プライオリティを決め、人員などのリソースを集中させながら、現在も開発を進めています。また、国内外を問わずさまざまなベンダーとの協業も多く、いい刺激になると同時に、相互の意思疎通、コミュニケーションの大切さを痛感させられました。これは、通信機器間のプロトコルと同様ですね。

今後は、最新の標準技術を組み込むとともに、LED ベースのコンパクトで丈夫なプリンタという OKI の独自性を発揮させて、時代のニーズを即応したプリンティングソリューションを提供していくつもりです。そして、開発現場の責任者としては、開発スタッフがいつでも自由に意見を出し合い、議論できるような風通しのいい職場環境の構築にも尽力したいと思っています。

まだまだ取り組むべき課題も多く、仕事のストレスも溜まります。だからこそ、オフ・ビジネスではリフレッシュも大切。私の場合、休日はドライブを兼ねて食べ歩きをし、SNS を通じて海外の友人たちと食べ物の情報交換をしています。もっとも、最近は飲み会レポートがメインになっていますが…（笑）。それと、中国に赴任した時から中国語の勉強もライフワークとして継続しています。個人的な当面の目標としては、HSK（中国語検定）4級の取得です。こちらの方も仕事同様の熱意を傾けて、頑張るつもりです。